

あなたの命を守るマイナ救急 ～マイナ保険証を携行しましょう～

岡消防本部警防課救急係 (☎53-7223)



令和8年度から本格運用が始まった「マイナ保険証」ですが、救急現場での実証事業では、マイナ救急が実施できなかった理由の多くが「マイナ保険証の不所持」でした。もしもの時のために、マイナンバーカードと健康保険証を利用登録して、マイナ保険証の携行をお願いします。

なお、マイナ保険証を搭載したスマートフォンでもマイナ救急が実施可能となりました。ただし、本人による生体認証または暗証番号の入力が必要となるため、意識不明時などは実施できません。引き続きマイナ保険証の携行をお願いします。



自然公園内で一定の行為を行うには手続きが必要です

岡【国立公園】観光課 (☎75-8943)
【県立自然公園】都市計画課都市政策室 (☎75-8946)

「磐梯朝日国立公園」や「瀬波笹川流れ栗島県立自然公園」では、豊かな自然環境を保護するため、法令に基づき以下の行為が制限されており、実施には申請が必要です。

- ・建物の新築、増改築（常設、仮設を問いません）
- ・広告物の設置・高山植物などの採取
- ・動物の捕獲、放出など

特に「瀬波笹川流れ栗島県立自然公園」は、住宅地などに隣接している区域が多く、知らないうちに、砂の採取や看板の設置など、規制に違反してしまうことがあります。ご不明な点は問い合わせ先へ相談してください。



小中学校の教職員の働き方改革を推進し、持続可能な学校づくりを進めます

岡学校教育課教育総務室 (☎72-6882)

令和2年から教職員の時間外労働の上限（月45時間・年360時間）を設定し、勤務時間削減に向けた業務の見直しを進めています。

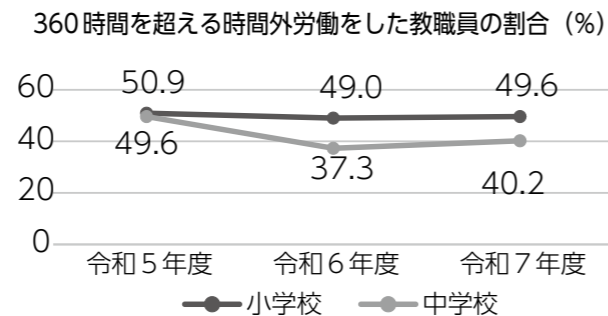
小中学校では、各種行事や業務の見直し、タイムマネジメント意識の向上などに取り組んでいます。

教育委員会では、令和5年度から校務支援システムを導入し、職員間の情報共有やデータの一元的な管理、保護者との連絡に活用しています。

また、中学校では、令和8年度から全ての学校部活動を認定地域クラブ活動として実施しています。

改善のための取り組みを教育委員会や学校で行っていますが、まだ半数近くの教職員が上限を超える働き方をしています。

これからの社会を生きる児童生徒が必要な資質や能力を身につけるために、教職員が健康で持続可能な教育活動を行うことが大切です。今後も更なる改革を推進します。



【保護者・地域の皆様へのお願い】
■夜間や休日の電話対応について
 平日は午後6時まで対応します。
 ※勤務終了時刻（午後4時40分頃）以降は、電話に出ない場合があります
 休日の電話対応はありません
 ※長期休業中は勤務時間内となります
【夜間、休日の緊急連絡先】
 学校教育課教育総務室 (☎72-6882)

初開催！ 第1回 むらかみ防災フェスタ2026を開催します

岡総務課危機管理室 (☎53-3365)



※写真はイメージです

本市では、令和元年6月18日に山形県沖地震、令和4年8月に豪雨災害を経験しました。これらの経験を踏まえ、防災に関する知識を深めることを目的に、地域防災力を高める「むらかみ防災フェスタ2026」を開催します。防災に関する講演やさまざまな展示、アトラクションを計画していますので、ぜひお越しください。

とき 8月2日(日) 午前10時～午後4時

ところ 村上市民ふれあいセンター (岩船3270番地)

内容 ●自主防災シンポジウム2026in村上

大ホールにて 午後1時30分～3時30分

講演①「今ある地域の力を災害に備える力へ

～つながりが育む地区防災計画～」

※地区防災計画とは、もしもの時にどう助け合うかを話し合っ決めて「地域のルールブック」です

講師 愛媛大学大学院 地域レジリエンス学環 准教授 しば だいすけ 氏

講演②「災害多発時代の災害ボランティア」

講師 特定非営利活動法人

にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏



芝大輔 氏



李仁鉄 氏

●「防災企画官“諸岡雅美”の気象防災コラム」出張版！

2階研修室にて 午前11時～正午

内容 夏休みの自由研究はコレ！気象防災実験

夏休みの自由研究にも使える気象や防災の実験をいくつも紹介！

諸岡 雅美 防災企画官 (気象防災アドバイザー、気象予報士)

●防災関係機関、協定団体による車両やブース出展、体験など

午前10時～午後4時

屋内展示：ふれあいホール 屋外展示：駐車場

●会場内でスタンプラリーを実施

防災グッズなどプレゼント



諸岡 防災企画官